

食品安全関係情報(12月20日 ~1月9日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

12月20日 ~1月9日 収集件数 (合計117/187件) (前回11月29日 ~12月19日)	国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
	WHO・FAO等 (7/8件)	米国 (7/10件)	カナダ (11/8件)	EU、EFSA (28/44件)	各国 (26/41件)	FSANZ等 (4/3件)	中国 (5/15件)	各国 (3/10件)	各国 (1/1件)	報道、論文等も含む (25/47件)
化学物質 (26/46件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	1	1	0	3	0	0	0	3
	食品添加物 (5)	0	0	1	3	1	0	0	0	0
	農薬 (9)	0	2	0	5	1	0	0	0	1
	動物用医薬品 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (2)	0	0	0	1	0	1	0	0	0
計 (26件)	0	3	2	10	5	1	0	0	1	4
微生物・プリオン・自然毒 (48/77件)	細菌 (12件)	0	3	5	0	4	0	0	0	0
	ウイルス (21)	3	1	1	1	9	0	1	1	4
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (5)	0	0	0	2	3	0	0	0	0
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	1	0	0	0	1	0
	動物性自然毒 (2)	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他 (6)	3	0	0	2	1	0	0	0	0	
計 (48件)	6	4	6	6	17	0	2	2	0	5
新食品等 (12/15件)	新食品 (2件)	0	0	0	1	0	0	1	0	0
	GMO (5)	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	健康食品 (3)	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	アレルギー (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
計 (12件)	0	0	3	3	0	0	1	1	0	4
肥料・飼料等 (1/6件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他 (30/42件)	表示 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	栄養 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (17)	1	0	0	8	3	3	2	0	0
	論文情報 (11)	0	0	0	0	0	0	0	0	11
計 (30件)	1	0	0	9	3	3	2	0	0	12
海外の食中毒 (0/1件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(12月20日～1月9日収集分117件)のうち、主なものの紹介
(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ 食品中のビスフェノール A(BPA)の存在に関連した健康リスクに関する科学的意見書を公表
 - ・ カフェインの安全性に関する科学的意見書案について意見公募
- ・ Environmental Health Perspectives
 - ・ 「適切な基準値(just right)を探して：コメ中のヒ素量の規制の課題」
 - ・ 「バングラデシュの成人のエピゲノムワイド関連解析における、遺伝子に特異的なDNAのメチル化及び慢性ヒ素暴露」
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、人工甘味料は栄養上の利点がないことを報告
- ・ ベルギー連邦フードチェーン安全庁(AFSCA)、ベルギー住民のアクリルアミド摂取量に関する再評価について報告書を発表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 世界保健機関(WHO)、鳥インフルエンザウイルス、A(H5N6)、A(H7N9)、A(H5N1)の感染情報を発表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、生乳(未処理乳)の摂取に関連する公衆衛生上のリスクに係る科学的意見書を公表
- ・ 米国疾病管理予防センター(CDC)、キャラメルアップルが原因とみられるリステリア・モノサイトゲネスによる集団感染情報を更新
- ・ 英国環境・食料・農村地域省(DEFRA)
 - ・ カナダ及び米国の家きん及び野鳥に発生した高病原性鳥インフルエンザ H5N2、H5N8 に関する予備評価書を公表
 - ・ ドイツ及びイタリアでの高病原性鳥インフルエンザ H5N8 集団発生に関する予備評価書を公表

【新食品等】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、食品及び飼料中に存在する特定のマスクドマイコトキシンによるヒト及び動物への健康影響に関する科学的意見書を公表
- ・ Eurosurveillance：「2013～2014年にイングランドの欧州産二枚貝からのフグ毒テトロドトキシンの検出」

【その他】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・ EFSA ジャーナルの2013年次報告書を公表
 - ・ 欧州連合(EU)メニュー(汎欧州食品摂取調査)の方法論に関する手引書を公表
 - ・ 欧州連合(EU)の研究・技術開発枠組み計画「Horizon 2020」におけるEFSAの優先研究課題に関する技術的報告書を公表
 - ・ 食事代替型ダイエット食品の必須成分に関する科学的意見書を公表